

平成 25 年度対セネガル草の根・人間の安全保障無償資金協力

「路上で暮らす若者達の社会復帰支援施設整備計画」

「路上で暮らす若者達の社会復帰支援施設整備計画」(93,333 ユーロ(約 1,000 万円))では、セネガル及び周辺国の路上で暮らす若者の社会復帰を支援している団体パイロット・ヴィレッジに対して寮 1 棟を建設するとともに、研修用農地に給水ポンプとホースのセットを整備します。

セネガル国内では家族から見捨てられ、必要な保護や教育を受けられずに、路上での生活を余儀なくされる子どもや若者達の存在が大きな社会問題となっています。パイロット・ヴィレッジは 1994 年の設立以来、ダカール州ラック・ローズ近郊の施設で、このような路上生活者や刑務所からの出所後社会復帰が困難な若者を保護するとともに、教育啓発・職業訓練を通して、社会や家庭に復帰できるよう支援活動を行っています。同施設では、衣食住を提供し、基礎教育や木工、建設、配電整備、農業などの専門的な職業訓練を実施していますが、収容人数に限界があるため、若者の入所を断らざるを得ない状況にあります。また、同団体は農業研修用の農地を整備しましたが、毎回バケツで行う水やりに多大な時間と労力が割かれているため、十分な農業研修を行うことができません。

本計画により新たな寮一棟を建設することで、より多くの若者が安全な衣食住を得て、安心した環境で教育・職業研修を受けることができるようになります。また、農地に給水ポンプとホースのセットを設置することにより、効率的な農業研修の実施が期待されます。



左:パイロット・ヴィレッジ、ロイック・トゥレグイ代表

右:北原大使